

テーマ

10年後も住みたいまちにするために、私たちができること

全ての人が住みやすいまちへ

井え頭小学校 六年 谷本 七美

私は、10年後も住みたいまちにするためには、健常者だけでなく、障害者の方も住みやすいまちづくりが必要だと思います。また、そのために私たちができることは、普段から障害者の方との関わりを持つことだと思います。

中学年の頃、学校で障害者の方の話を聞いたことがある。そこで私は、障害者の方と健常者である私たちの生活の違いに、とても驚

東京武蔵野ロータリークラブ

いた。服を着がえる、まちを歩く、という自分たちが当たり前に行っていることが、障害者の方にとっては難しいことなのだ。しかし、私は、周りの人のように当たり前に行っていることができない人だからこそ、その生活の厳しさを学がだけでなく、まち全体で支えていかなければならないと思う。けれど実際は、障害者の方に声をかけることは、とても勇気がいることだと思う。私自身も、まちで白杖を使って歩いている人を何度か見かけたことがある。

● 作文の題名・学校名・学年・名前（ふりがな）を書いてください。

● 小学生は、原稿用紙2枚以内以内、中学生は、原稿用紙4枚以内。

応募について詳しくはサイトでご確認ください。
m-rotary.org



- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

テーマ

10年後も住みたいまちにするために、私たちができること

が、障害者の人とあまり関わったことがなく
 大きな壁を感じ、話しかけることはできな
 かった。しかし、話を聞いた後日、話をしてく
 ださった方に会ったのだ。話の最後に、
 「この辺りに住んでいるので、見かけたら声
 をかけてください。」
 と言われていたので友達と声をかけた。相
 手がどのような反応をするか分からず、不安
 だったが、すぐに笑顔で答えてくれた。その
 時私は、初めて障害者の方との壁を乗り越え
 られたような気持ちになった。

東京武蔵野ロータリークラブ

私は、学校の行事をきっかけに障害者の方
 との関わりを持つことができた。私たちのよ
 うな健常者である人があいさつなどを通して
 障害者の方との関わりを深めることで、全
 体の人が住みやすいまちになると思う。そし
 て、まち全体でサポートしながらも、障害を持
 っているというだけで差別せず、一人の人
 間として、一人のまちで暮らす人として、共
 存できるまちを目指していきたい。

● 作文の題名・学校名・学年・名前（ふりがな）を書いてください。

● 小学生は、原稿用紙2枚以内以内、中学生は、原稿用紙4枚以内。

応募について
 詳しくはサイトで
 ご確認ください。
m-rotary.org



- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう